

5. 企業活動の効率化の検証

5-1 まとめ

【実施計画で想定した効果】

○スマートICの整備により、物流等の効率化が図られ、企業活動の効率化、さらには産業の発展が期待できる。



【本業務で検証した効果】

○高速道路の利用ICの変化（利便性の向上）、配送エリアの拡大、時間短縮効果など企業活動の効率化や工業団地の付加価値向上などの整備効果を確認。

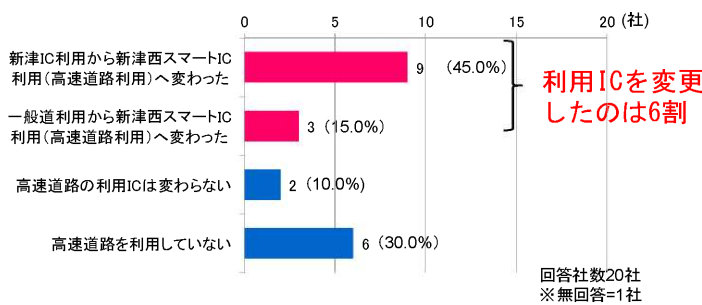
評価：実施計画で想定した効果と同程度の効果を確認

5-2 効果の検証

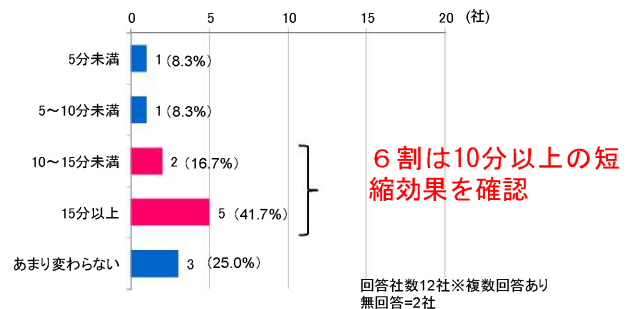
検証①：所要時間短縮効果の検証

- ・新津西スマートICの開通により、新津工業団地の企業の6割は利用ICを変更している。特に一般道利用から高速道路利用へ変更している企業も存在している。
- ・その結果、高速道路を利用することにより10分以上の時間短縮効果を確認している企業が6割を占め、企業活動の効率化につながっていると考えられる。

□利用する高速道路ICの変化



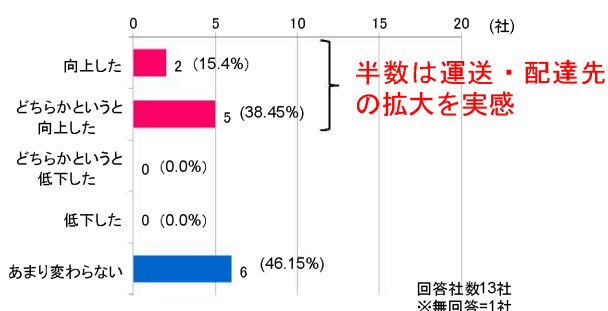
□高速道路利用による所要時間短縮効果



検証②：物流面の変化などの検証

- ・約半数の企業が運送・配達先の拡大を実感している。
- ・6割の企業が、新津西スマートICの開通により、工業団地の付加価値が向上したと感じている。
- ・高速道路を利用することにより企業活動の効率化が図られていると考えられる。

□運送・配達先の社数やエリア変化



□新津工業団地の付加価値向上

